

こち
東風吹かば にほひおこせよ 梅の花 あるじなしとて 春なわすれそ

これは、学問の神様と呼ばれる菅原道真の歌です。先月、菅原道真をまつた防府天満宮の特大絵馬が、山口宇部空港に設置されたというニュースが報道されました。いよいよ本格的な受験シーズンの到来ですね。

さて、今回の統計は文部科学省の「学校基本調査」です。この調査では、学校数、在学者数、教職員数だけでなく、卒業後の進路状況なども調べています。

今日は、その中から、大学（短期大学を含む）への進学状況について紹介します。

山口県の高校卒業生（2016年3月卒業）の大学進学率は42.7%で、全都道府県中45位となっています（全国平均は54.7%）。

山口県の高校を卒業し、2016年度に大学に入学した人は約5,600人です。このうち約3割（約1,700人）が県内の大学に入学し、約7割（約3,900人）は県外の大学へ入学しています。

一方、県外から県内大学への入学者は約3,100人とどまっており、大学進学時に多くの若者が県外に出ていることが分かります。

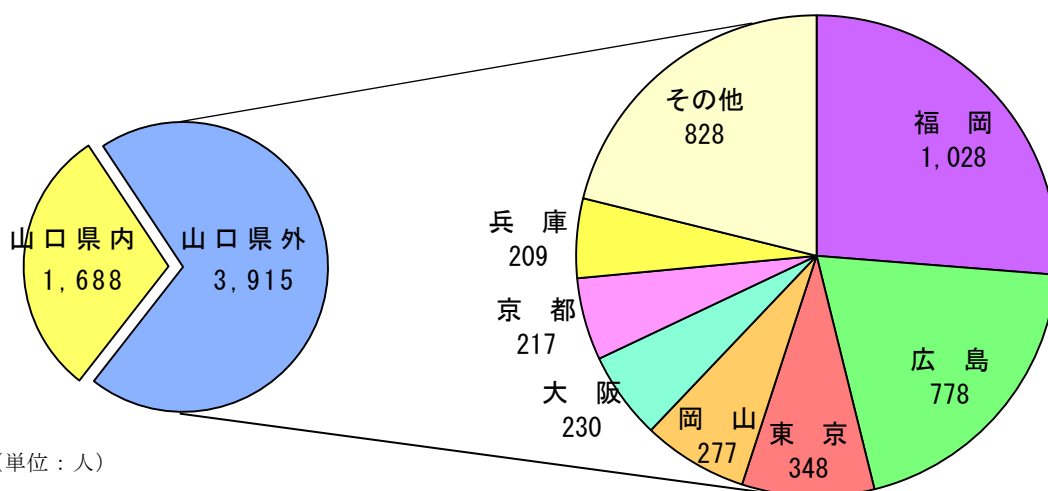
県外の進学先は、隣県の福岡県（約千人）と広島県（約800人）が突出して多く、次が東京都（約350人）となっています。以下、岡山県、大阪府、京都府、兵庫県と続きます。

山口県では、学生の県内定着を最重要課題と考えており、キャンパス訪問のサポート、オープンキャンスマップ、進学ガイドブックの配布などを通じて県内への進学を支援しています。

梅一輪 一輪ほどの暖かさ（嵐雪）

合格の春はすぐそこです。受験生の皆さん、体調管理に注意してがんばってください。

山口県内高校卒業生の大学などへの進学先
(2016年度入学者)



(単位：人)

※過年度高卒者を含む